

〈リアキャリパー〉
取付



④キャリパーを取付る前に
インナードラムのサイドワイヤー調整を
行って下さい。
キャリパーブラケットキャリパーを
仮取付して下さい



①ローターを取り外す



⑤キャリパーのほぼ中央に
ローターが有ればOKです。
中央に来ていない場合は
付属のシムにて調整して下さい



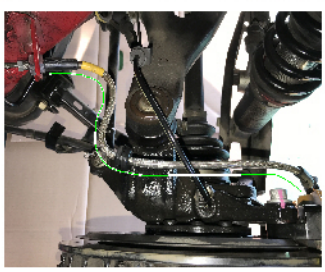
②ローターキャリパーブラケットが
干渉する部分のカバを
ニアエッター等で切り取って下さい
又、必ず、ワイヤーブラシ等で
バリ取りとサビ止め処理を行って下さい
(振動の原因になります)



⑥キャリパーブレケット&キャリパーを
ネジロック(※付属品)を塗り
規定のトルクで(※別紙参照)
締め付けて下さい

※リアブレーキパット取付手順
別紙参照





⑦純正と同じ様にブレーキホースをなるべく
緩やかな曲がりで取り付けて下さい
又、ホイール等と干渉していないか
ホースによじれが無いか
チェックして下さい。

⑧ブレーキのエア抜きを行い
モレが無ければ完成です



③ナックル部もサビ取りを行い、
サビ止め処理を行って下さい
注:バックプレートにローターが
当たってないか確認して下さい

注:エア抜きのブリーダーの横から
モレたオイルはパーツクリーナー等で十分に
脱脂を行って下さい
オイルが残っているとペイントが剥がれます。
※ゴムキャップ取付後も同様に
脱脂又は水洗いを十分にして下さい

注意:慣らし走行が必要です

取付直後はキャリパーの性能が100%出ていません。早目のブレーキをお願いします。ローター面の切削、キズが無くなるまで安全運転を心がけて下さい。慣らし走行後、必ずオイル漏れや干渉が無いか点検して下さい



注:ローターベルにナイドブレーキ調整穴が
無い為、このタイミングで
ナイブレーキ調整を行って下さい

※慣らし走行後、ブレーキを踏んで振動(キックバック)が出る場合は、ナックル部のガタ等をチェックして下さい。
※サビ防止の為、ローターのベンチレーション内部にサビ止め用OILが塗ってありますが、走行初期にホイール内側に飛び散る事があります。
その場合は洗剤等で洗い流して下さい。
※ホイールは定期的に増す締めして下さい。
ホイール鳴きがある場合、ホイールディスク面にグリス等を塗って増す締めして下さい